

# エゾマツ

第2号

発行 ボランティア・レンジャー

「エゾマツ会」1987.7.15

発行責任者 河村千束

## 主な内容

- エゾマツ会総会のお知らせ
- 第2回ボランティア・レンジャー育成研修会のお知らせ
- 野幌森林公園自然観察会参加特集

## 昭和62年ボランティア・レンジャー 「エゾマツ会」総会の開催について

昭和62年度の総会を、次の要領で開催いたしますので、万障繰り合わせの上多数ご出席くださいますようお願い致します。

1 日 時 昭和62年8月21日(金) 19時～

2 場 所 国民宿舎「ユートピア大沼」

TEL 0138-67-2341

3 内 容

- (1) 61年度事業経過報告について
- (2) 62年度事業計画について
- (3) その他の事項について

なお、総会は第2回ボランティア・レンジャー育成研修会第1日目に当たっております。会場その他の準備の都合もございますので、出欠の有無を、8月10日必着で同封ハガキにて、を返答ください。

ご都合で欠席される方は委任欄にご記入をお願い致します。(幹事長)

## 第2回ボランティア・レンジャー 育成研修会参加について

昭和62年度計画として、下記のとおり第2回ボランティア・レンジャー育成研修会が行われます。

この機会に、私ども第1回ボランティア・レンジャーに対しましても補習コースが設けられております。万障繰り合わせのうえ是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、出欠につきましては、宿舎の都合もございますので、同封ハガキにて8月10日必着でご回報願います。(幹事長)

- 1 日 時 昭和62年8月21日(金)～8月23日(日)
- 2 場 所 研修会場 七飯町林業研修センター(南北海道大沼婦人会館)  
亀田郡七飯町字大沼212  
TEL 0138-67-3531  
宿泊場所 国民宿舎 ユートピア大沼  
亀田郡七飯町字東大沼28の2  
TEL 0138-67-2341
- 3 費 用 受講料無料 二泊六食の費用 12,000円(当日受付渡し)
- 4 携 行 品 筆記用具、洗面道具、印鑑、双眼鏡(お持ちのかた)、雨具、  
服装は野外実習のできる服装(雨天決行)
- 5 研修内容及び講師
  - ・ 北海道の自然と自然保護について.....  
北電興業(株)事業部 長谷川 雄七
  - ・ 自然保護教育ボランティア活動について・・  
ウトナイ湖サンクチュアリレンジャー 安西 英明
  - ・ 自然解説の方法と技術について.....  
野生生物情報センター代表 小川 巖
  - ・ 動物について.....  
(社)北海道猟友会専務理事 村野 悟郎
  - ・ 植物について.....

・ 地形・地質について・・・・

北海道教育大学函館分校教授 外崎 与之

・ 自然環境保全関係法令について・・・・ 道自然保護課職員

・ 野外実習・・・・ 講師全員

6 問い合わせ先 北海道生活環境部自然保護課及び各支庁林務課自然保護係

7 日程表

第1日目 8月21日(金)

時間	内 容	講 師
13:00	研修会場へ集合・受付	
13:30	開講式・オリエンテーション	
14:00	講義「北海道の自然と自然保護について」	長谷川雄七
15:30	休 憩	
15:40	講義「自然保護教育ボランティア活動について」	安西 英明
17:10	宿泊場所へ移動	
18:00	夕 食	
19:00	討 議 テーマ「人と自然とのかかわりについて」	講 師 参 加
21:00	終 了	

8月22日(土) 午後

13:00	講義「動物について」	野村 裕郎
14:30	休 憩	
14:40	講義「地形・地質について」	外崎 与之
16:10	休 憩	
16:20	質疑応答等	講 師 全 員
17:00	宿泊場所へ移動	
18:00	夕 食	
19:00	討 論 会	講 師 参 加
21:00	終 了	

第2日目 8月22日(土)

時間	内 容	講 師
5:30	起床・洗面	
6:00	野外実習	講 師 全 員
7:30	朝 食	
8:40	研修会場へ移動	
9:00	講義「自然解説の方法と技術について」	小川 巖
10:30	休 憩	
10:40	講義「植物について」	宗像 和彦
12:10	昼 食	

第3日目 8月23日(日)

時間	内 容	講 師
7:00	起床・洗面	
7:30	朝 食	
8:30	大沼森林公園へ移動	
9:00	野外実習	講 師 全 員
12:30	研修会場者・昼食	
13:30	アンケート記入等	
14:30	閉講式	
15:00	解 散	

## 野幌自然観察会特集

6月7日道主催の“野幌森林公園自然観察会”に、エゾマツ会の会員も協力参加ということで、遠くは旭川の戸島さんまで、12名の会員が参加した。今回は、その時の様子を特集してみました。



自然観察会に参加して

五十嵐 博

まず名前を覚えることからスタートしたのが災いしてか、自然への感動が薄れているのをこの頃感じます。

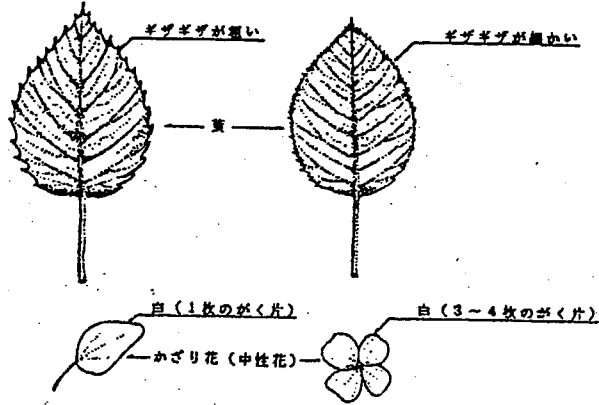
それでも、しつこく名前にこだわっていたところ、野幌森林公園事務所の村野さんのスタート前のレクチャーでその点を指摘され、若干落込んだ観察会のスタートでした。

桂コースへと歩きだした私達の班はエゾハルゼミの合唱の中、まずコゲラと遭遇。枯木で巣穴掘または採餌中なのか、ゆっくりとそのかわいい姿が堪能できました。草花や樹木を見ながら、たまに鳥の声も聞きながらの大沢園地までのコースは2、3種のわからない植物に出会いながらも無事終了、大沢園地では幸運にもカワセミも見ることができました。

私達の班には子供を3人つれた親子ずれ、夫婦がそれぞれ1組の他は友人らしい御婦人ずれなどの構成でした。子供達を飽きさせないように歩かせるのは難しく、班の人達が何故かバラバラに行動してしまいそれらの整理もあまりうまくいきませんでした。昨年は教わる立場で参加していましたが、立場が逆転するとなかなか難しいものです。昼食後もラン等の花を見ながら歩きまして最後に緑色のキツキ、ヤマゲラをゆっくりと見て終了しました。昨年と比べると野鳥が比較的多く見れたのが印象に残ったのと、昨年と1日しか違わないのに見れなかった花や逆に新しく見れた花があつたことも興味がわきました。

・イワガラミ

・ツルアジサイ  
(ゴトウズル)



・花は共に6~7月、イワガラミは名の通り地上(岩の上)等を選ぶこともある。共にフル性で樹に気根を出してからみつく。

最近覚えなくてはならない事がたくさんあります。興味があちこちに分散中です。植物にしても名前のいわれや漢字、食べられるか否か、おいしいか、などなど只名前を覚えるのでも種類が多くて大変なのに。

そこで、最近では自分用の植物の見分け方の絵ときの図鑑を作ろうと考えています。鳥の場合は見わけのポイントが絵で解りやすくなっていますが、植物の場合は専門用語が難しく、似た者も多いのですが、季節と、場所を限定すれば数十種類がある程度分かれはすむのではと思っています。樹木に関してはほとんど整理できましたが、草花の方はまだまだです。今回も観察会のパンフレットをいたずらしてみました。その内自分の書いた絵で作ってみたいものです。

お知らせ (道人事務移動より)

お世話になりました

- 山内 森雄 元 自然保護課長さん——道林務部造林課長さんへ
- 吉田 勉 元 自然保護係長さん——自然保護課公園施設係長さんへ
- 中川 博正 環境緑化係へ

お世話になります

- 紺野 忠義 自然保護課長さん——元 留萌支庁経済部長より
- 松岡 治 自然保護係長さん——元 釧路支庁自然保護係長より
- 柴田 千尋 保全指導係へ

## 観察会に参加して

加藤 清春

6月7日(曇)、野幌森林公園での観察会、私達レンジャーとして始めてのお手伝いと云えば聞えはよいが、実際本番になってみると何をどの様に話し進めていけばよいのか、ただときどきしながら見ているだけ、足元を見ると、マイヅルソウやニンソウなどたくさん見られるのに……。

道職員の先生方はどんどん先へ進めていく。ただ、それについて行く。こんな1日ではなかったかなと思います。

2つや3つは参加者と話す機会はあったけれど何と要領の悪いこと、やはり数多くの行事に参加し覚えるより方法がないのではと感じました。出来れば会員だけの観察研修会など計画していただき、レンジャーとしての技術の向上を計っていただければと思います。

参考までに、滝野公園自然探勝会今後の日程を記しておきます。

### 昭和62年度 滝野公園自然探勝会日程表

10月10日(祝) 紅葉の滝野自然探勝会 (先着50名)

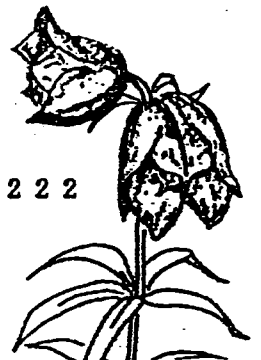
- ・ 講師 原松次先生
- ・ 時間 10時～14時30分
- ・ 持ち物 弁当・筆記用具等

3月20日(日) 冬の滝野自然探勝会 (先着50名)

- ・ 野生生物情報センターの方々の指導で野鳥や動物の足跡、植物の観察
- ・ 時間 9時30分～12時
- ・ 持ち物 双眼鏡等

問い合わせ・申し込みは

- ・ 滝野管理センター TEL 011-592-2222



## 落としもの記

戸島 隆

朝6時40分、自宅(旭川)を出発し国道12号線を石狩川沿いに走る。

樹木は春の陽光を受けて開葉を終り緑が一段と鮮かになってきた。山は、樹種固有の緑のコントラストが美しい。

野幌森林公園に着くと大勢の人が集まっており、その中に同志の顔が見え、先ず参加してよかったと思う。

観察指導の方は最後の班で森林公園事務所の村野さんが付いており、私はゆっくり林内を観察することができた。

私は若い頃から林床植物の写真を撮っているが、お目当の植物の前に三脚を立て、カメラアングルを決め息をこらして風のおさまるのを待ちシャッターを切り終った時その植物に対する愛着は一入であり、又図鑑だけで見えていた植物と自生地出会った時の喜びは格別で、その個体と自分だけの世界を感じる。

今回は「コケイラン」に出会った。早速ルーペを出して観察し愛用のカメラをマクロにセットし数枚シャッターを切った。その時持っていたメモ帳とパンフレットを地面に置たことを忘れ写し終ると遠ざかった班員を追った。数十分後置き忘れたことに気付いたが頭とカメラに納めたので戻ることを諦めることにした。

ところが昼食後、全員が集まり午前中の観察結果のまとめが指導員代表からあり、終ると落としものの披ろうがされた。カメラのキャップが多く最後に私の手帳が吉田係長の手から高々と上げられた。私はのこのこと彼の前に進み出る。この時の私の格好がユーモラスに見えたのか、腕章をした私が落したことが可笑しかったのか全員から一斉に笑い声がおきた。

私は、濃い緑の沢の中に全員の和やかな空気が流れたように思った。

私の心も爽やか、拾ってくれた人に「ありがとう」とお礼を言いたい。



## 知床をたずねて

玉田 紀美子

以前から観光ではなく自然の知床をみたくて5月3日から野生生物情報センターの「知床動物ウォッチングツアー」に参加しました。参加者は20代の女性から70代の男性まで30人ばかり、札幌から9時間近くかかってやっと宇登呂に到着。夕食後は、北大ヒグマ研究グループの学生さんの“知床の自然とヒグマ”の話とスライド。当地で地道な研究をされている学生さんに感心しました。翌朝今問題になっている伐採の森に行く。伐採対象のテープのある木を捜したがみあたらない。しかも、私が見慣れた藻岩山や円山に比べて大木が少なく、少ないこれらの木を伐ってしまうと貧しい森になってしまうのではと心配。午後からは知床燈台付近を皆んなで歩けばこわくないとヒグマの出現を期待して歩くが見たのはシカのフンとヒグマの古いフンだけ。フンを分解して何を食べているかをしらべる。夕食のカニはとても美味だった。7時より、サーチライト4台を持って夜の動物観察。サーチライトに目を発光させるキツネやウサギ。山の近くの牧場では牧場の草を食べにくるシカの群れ、親子連れ、立派な角を持った雄シカが次から次へと光の中を60頭余りも通り過ぎていった。「シカを飼っているのか牛を飼っているのかわからない」とここの人が言っているようです。シカの出現に歓声をあげて喜び野生動物を保護しましょう、自然を大切にしましょう、と云う言葉を、ここの人達は何と思っているのでしょうか。苦々しい思いではないでしょうか。5日、船で知床岬へ。ヒグマが観察できるのではと期待したが姿を見せず。かろうじて、オジロワシ、シカの親子、海鳥だけ。海から見る知床の山々は白雪で優美なばかりでした。

岬を折り返して間もなく風が出て船室へ逃げ込む。ほとんどの人が船酔いでさっきまでの元気はどこへやら。でも、ヒグマを見られなくても満足。オホーツクの海を漁船に乗って、波シブキでぼうしも、アノラックも塩がふいて真っ白になったのですから。

船酔いで、頭痛のまま次の地小清水へ。そして、6日は、濤沸湖で野鳥観察。上空をオジロワシ、トビなどが舞、湖面では水鳥が羽を休め鳥の楽園というかんじで、まだまだ観察したい気持ちを残して帰りのバスに乗りました。また、知床を尋ねます。



昭和62年度ボランティア・レンジャー「エゾマツ会」総会開催について

昭和62年度ボランティア・レンジャー「エゾマツ会」総会を次の要領で開催いたします。多数ご参加下さい。

1. 日時 昭和62年8月21日(金)
2. 場所 七飯町林業研修センター(亀田郡七飯町字大沼212)又は国民宿舎ユートピア大沼(亀田郡七飯町字東大沼28の2)
3. 内容 61年度事業経過報告、62年度事業計画、その他

総会は、道主催の第2回ボランティア・レンジャー育成会研修会(8月21日～23日まで大沼国定公園大沼周辺を中心に)の第1日目でもあります。出欠の有無、内容等の詳しいことについては、後日連絡いたします。今から心づもりをしていただければ幸いです。



会費未納の方へ

既に、文書でお知らせしたとおり、7月までに会費を納めていただくことになっておりますが、まだ未納の方が数名おられます。至急お納めいただければ幸いです。金額は、1500円です。よろしく願いたします。

送り先 ㊟065 札幌市東区東苗穂6条1丁目 小竹 数博  
(㊟ 011-874-6251)

編集後記

今、やっとワープロを打ち終わりました。「エゾマツ」創刊号を皆さんにお届けできるかと思うと胸がわくわくしてきます。

創刊にあたり横路知事より、お祝いの辞をいただき、また岡田生活環境部長より題字を書いていただきました。深く感謝申し上げます。

今回は、かなりご無理を言って原稿を書いていただきました。原稿依頼の際に、返信用封筒と切手を入れわすれ、大変ご迷惑をおかけしました。お許し下さい。ご協力ありがとうございました。

皆さんから原稿を募集します。どしどしお送り下さい。お待ちしております。

宛先 ㊟064 札幌市中央区宮の森2条13丁目  
大友 健